

県内経済の動き

概況

〔2020年2月～2020年4月の動き〕

個人消費、生産面ともに厳しさを増す

鉱工業生産指数（2月）は5カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（3月 細島港）は2カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（3月 全店ベース）は前年同月比減少に転じ、「軽」を含む乗用車の販売台数（4月）は7カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（3月）は3カ月ぶりに前年同月比減少し、公共工事（4月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（3月）は前月比0.02ポイント低下し1.28倍となった。4月の企業倒産は前月比2件増の4件、負債額は同1億28百万円増の3億84百万円となった。

新型コロナウイルスの影響による経済活動の停滞が続いており、本県経済の先行きもさらなる悪化が懸念される。